

教材教具名	はらぺこあおむし	分類	操作の学習 - 目と手の協応
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	教員の簡単な指示を理解する		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

段ボール製のはらぺこあおむしの口に、赤い袋で作ったリンゴや玉入れの玉を入れる

<材料>

段ボール板、模造紙、色画用紙

<工夫点>

はらぺこあおむしのパネルシアターを導入に取り入れることで、児童が興味を持って取り組めるようにした。

<効果>

教員の言葉による指示や指さしによる指示などで、はらぺこあおむしの口にリンゴや玉入れの玉を入れることができた。

教材教員名	ストローのプットイン	分類	操作の学習 - 目と手の協応
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	目と手の協応、手の巧緻性		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

ストローをフタの切り込みから中に入れる。

<材料>

筒形のタッパー、ストロー

<工夫点>

ストローにすることで力加減なども学べる。

<効果>

教材教具名	横からプットイン	分類	操作の学習 - 目と手の協応
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 左手（利き手ではない方）を必然的に使うようにすることで、日常生活でも左手を出す習慣を身に付ける。</li> <li>• あらゆる方向からものを見る力をつける。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 左手でタッパーを支えながら、右手でおはじきを横の穴から入れる。

<材料>

- おはじき   • タッパー

<工夫点>

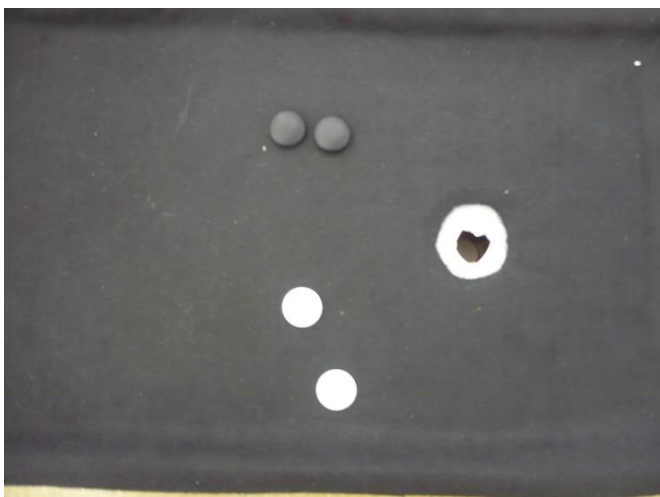
- 手にフィットするサイズのタッパーにした。

<効果>

- 給食の時と関連付けて、左手を出す意識付けに繋がった。（と、思います。）

教材教員名	机一体型プットインボックス	分類	操作の学習 — 目と手の協応
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題と報酬の分化</li> <li>・趣旨の巧緻性</li> <li>・決められて作業に連続で取り組む</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

机に固定して、碁石を並べる。穴の下に箱を置く。すべての碁石をプットインできたら、報酬として箱に入った碁石で感覚遊びができる。

<材料>

段ボール、布など

<工夫点>

箱にプットインすることで感覚遊びをすることが好きな生徒に、プットインをきっかけにつまむ、つかむ、引くなどなどの課題に取り組ませていた。プットインする（課題）ことで感覚遊び（報酬）が得られるため意欲を持ち、様々な課題に取り組めるようになった。そこで、次のステップとして課題と報酬を分けたい考え、机と穴の開いた箱を一体型にすること、箱の中に碁石が入っていき、すべて穴に入れる（課題）と碁石が入った箱（報酬）を得られるようにした。

今後は、製氷機のようなものを使い碁石が無くなるということや、穴にアタッチメントを取り付け形を変えることで、穴を細くし碁石をつまんで穴に入れさせたいと考える。

<効果>

プットインしたいという意欲はそのままに、課題に取り組みその後、報酬という分化ができた。

教材教具名	キャップ入れ	分類	操作の学習 — 目と手の協応
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手指の巧緻性</li> <li>• 作業に連続で取り組む</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

机にペットボトルキャップを置く。キャップを入れると、二段階でキャップが落ちていく。

<材料>

ペットボトル、キャップ、テープなど

<工夫点>

箱にプットインすることで、感覚遊びをすることが好きな生徒に、プットインをきっかけにつまむ、つかむ、引くなどの課題に取り組ませていた。プットインすることで感覚遊びが得られるため、意欲を持ち、様々な課題に取り組めるようになった。しかし、一つプットインすると遊んでしまい、連続して取り組むことが課題だった。そこで二段階でキャップが落ちていくようにした。更に一番下に色を着け、キャップが見えなくなるようにした。

<効果>

連続してプットインに取り組むことができるようになった。

教材教具名	両手を使ってはがそう	分類	操作の学習 - 目と手の協応
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	片手でファイルをおさえながら、貼られた模様をはがすことができる。		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

片手でファイルをおさえる。もう片方の手でシートをはがし、袋に入れる

<材料>

ファスナーテープ、ラミネートした紙

<工夫点>

シートを長い模様や小さい模様など種類を様々にし、難易度を変えた。

<効果>

両手を使ってシートをはがすことができた。

教材教具名	洗濯バサミと画用紙の 仲間集め	分類	操作の学習 - 目と手の協応
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手指の巧緻性を高める</li> <li>• 色同士で弁別をする</li> </ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

洗濯バサミを画用紙からつまんで外す。画用紙は筒の中に入れる。もしくは色ごとに分ける。

<材料>

洗濯バサミ、画用紙

<工夫点>

筒には画用紙のみが入るよう切り込みを入れた。

慣れてきたら色ごとに分けるなど、発展することができる。

<効果>

両手を使い、洗濯バサミと画用紙を分けることができた。

洗濯バサミを入れる筒のようなものも用意すればよかった。

教材教具名	ひも通し①	分類	操作の学習 - 目と手の協応
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく学習を進める。(個別課題の導入に使用)</li> <li>・手指の巧緻性を高める。</li> </ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

絵本のお話に沿って、教員とやりとりをしながら、順番に果物を食べさせる。

<材料>

フェルト、綿、ひも

<工夫点>

児童の興味関心に合ったものを選ぶ。

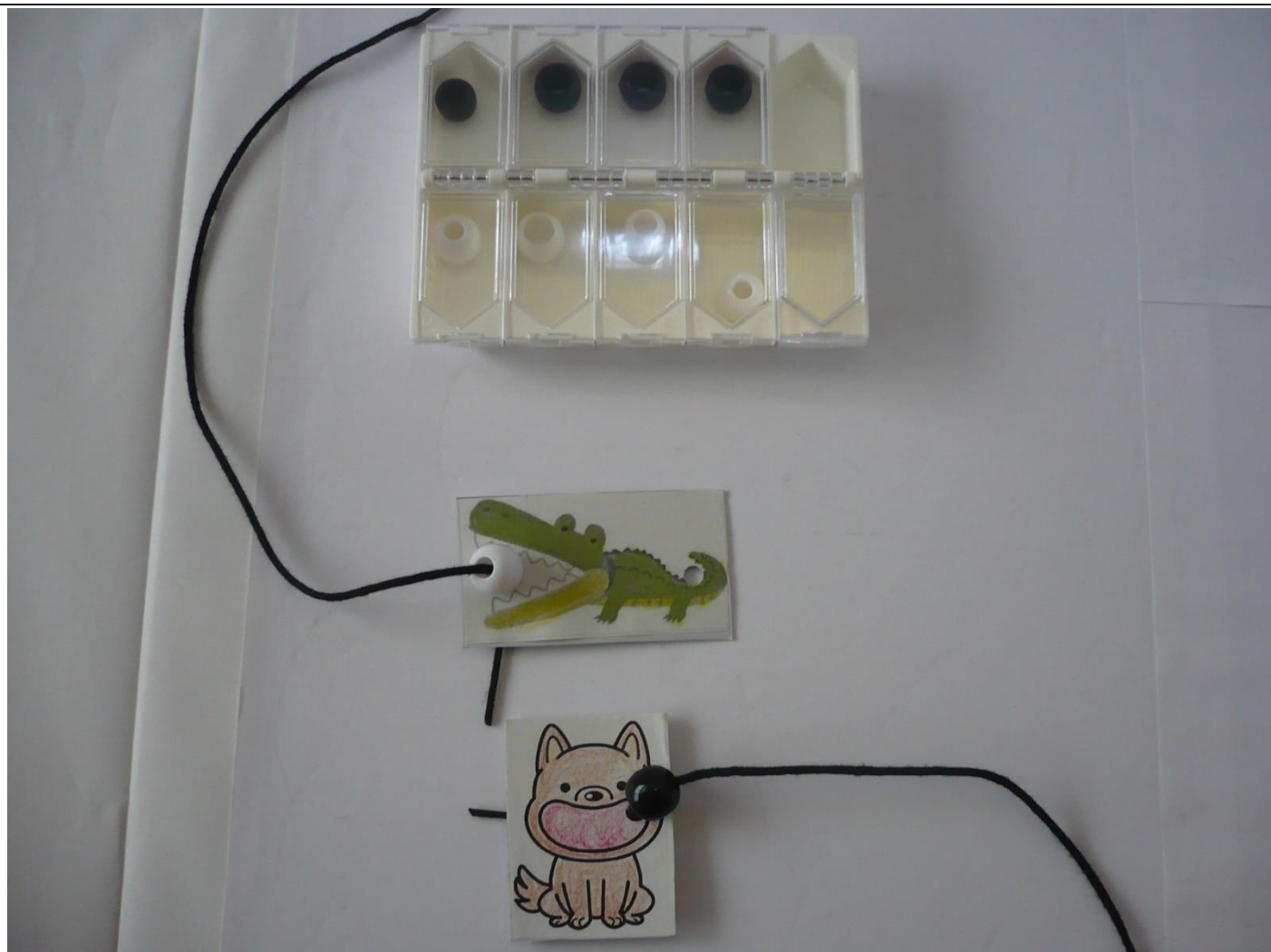
<効果>

自分から課題に取り組むことができた。



教材教員名	ビーズ通し	分類	操作の学習 - 手と目の協応
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手と目の協応</li> <li>• ビーズを親指と人差し指でつまんで通す</li> <li>• 穴に通すときの指先の力加減や集中力を身につける</li> </ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- 中指、薬指、小指で消しゴムを挟んだ状態でビーズを親指と人差し指でつまむ。
- つまんだビーズをひもに通す。

<効果>

- ビーズの大きさを小さくしたり、二指でつまむことを意識できるように消しゴムを持たせたりしたことでつまんで通すことができるようになってきた。

教材教具名	ボタン通し①	分類	操作の学習 - 目と手の協応
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	手先の巧緻性を高める。		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

ボタンを持ち、フェルトの穴を通す。

<材料>

ボタン、フェルト、ゴムひも

<工夫点>

ゴムが伸びるので、穴を通しやすい。ゴムひもを調整したり、穴を狭くしたりすることで、難易度が上がる

<効果>

回数を重ねることで、上手に通すことができるようになってきた。

教材教員名	ボタンの留めはずし	分類	操作の学習 - 目と手の協応
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手指の巧緻性を高める。</li> <li>• スナップボタンや、ボタンの留め外しを行う。</li> </ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

ボタンを留めていき、あおむしを完成させたり、ウサギの手を繋がせていったりする。

<材料>

フェルト、ボタン、スナップボタン

<工夫点>

児童の好きなキャラクターを使用する。

<効果>

教材教具名	ひも通し②	分類	操作の学習 - より複雑な操作
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	目と手の協応、手先の巧緻性		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

穴にひもを通す。

<材料>

厚紙、ひも、色えんぴつ

<工夫点>

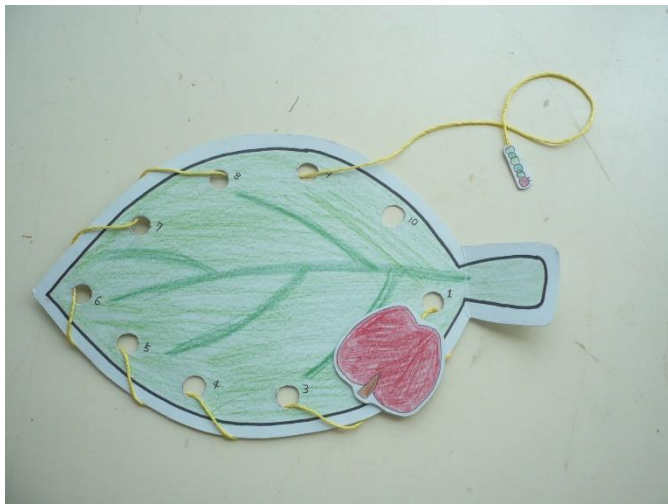
「つまんで入れて、つまんで出す」ボタンの練習につなげられるように、ひもの先につまめるものをつける。

<効果>

「つまんで入れて、つまんで出す」ボタンの練習にもつなげる。

教材教員名	ひも通し③	分類	操作の学習 - より複雑な操作
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	目と手の協応		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

順番にひもを通していく。

<材料>

厚紙、色をぬるもの、ひも

<工夫点>

児童の好きなもので作った。

<効果>

教材教員名	ひも通し（大・小）	分類	操作の学習（より複雑な操作）
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手指の緻巧性を高める</li> <li>• 集中力を保ちながら最後まで活動する</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

利き手でない方でひもを持ち、ビーズを一つずつ通す。終わったらビーズをひもから外し、利き手でひもを持ち、もう片方の手でビーズを通す。

<材料>

ビーズ、ひも（太・細）、ビーズ、ホース、プラスチックリング

<工夫点>

ひもを通しやすいように輪の大きいもの（ホース）や、少し小さめのビーズなど、段階的に活動できるようにした。また、通したビーズがこぼれていかないように、ひもの末端にプラスチックリングをつけた。ひもの方も固めのものを用意することで、難易度的にも易しいものになるようにした。

<効果>

大きいリングを通すことは比較的簡単なので、達成感を感じることができ、どんどんできるので途中で投げ出さず、集中力も持続させることができる。

教材教員名	ビーズ通し（棒、ひも）	分類	操作の学習 － より複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手と目の協応</li> <li>・穴に通すときの指先の力加減や集中力を身につける</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

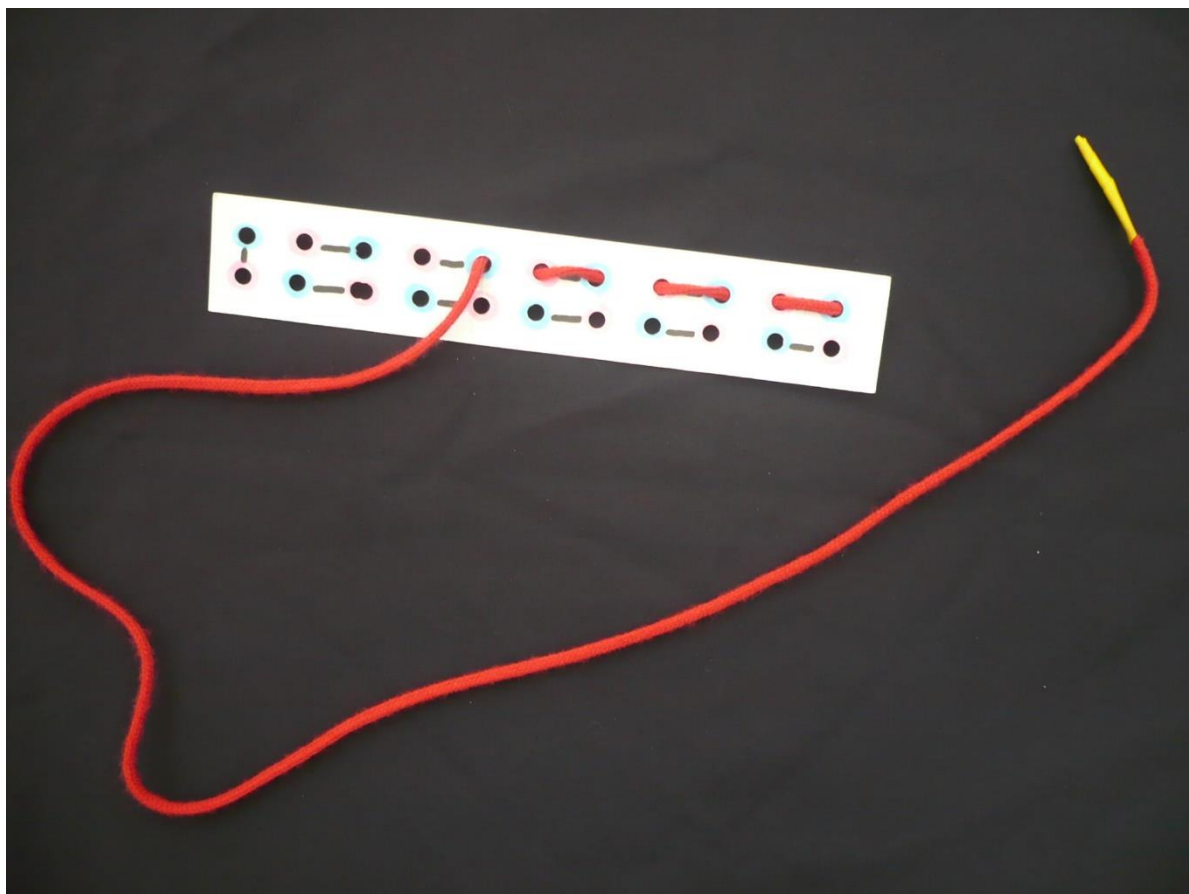
- ・指示書に合わせてビーズを並べ、順に通す。
- ・「できました」と言って教員に手渡す。

<効果>

はじめは、指示書を使わず、人差し指を親指でビーズを持って通すことを繰り返した。やり方が分かると指示書を使って、1から順に声を出しながら並べ、通すことができるようになった。

教材教具名	波縫い練習	分類	操作の学習 - より複雑な操作
		授業名	個別課題学習・作業（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業学習で行う波縫いの練習を行う。</li> <li>・針を「入れる」、「出す」の繰り返しの動きができる。</li> <li>・片手で布（紙）、利き手で針（ひもの先の棒）を持って波縫いができるようにする。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・利き手で針（棒）を持ち、非利き手で紙の板を持つ。
- ・ピンクは手前から入れる、水色は置くから出す の順でひも通しを行う。（「入れる」、「出す」と言葉かけをしながら行くとわかりやすい。）

<材料>

厚紙、ペン 2 種類、穴あけパンチ、ひも、ビニールテープ

<工夫点>

- ・手前から入れるのと、出すのがわかりやすいように色をつけた。
- ・ひもが見える場所に線を描き、目を飛ばした場合に気づきやすくした。

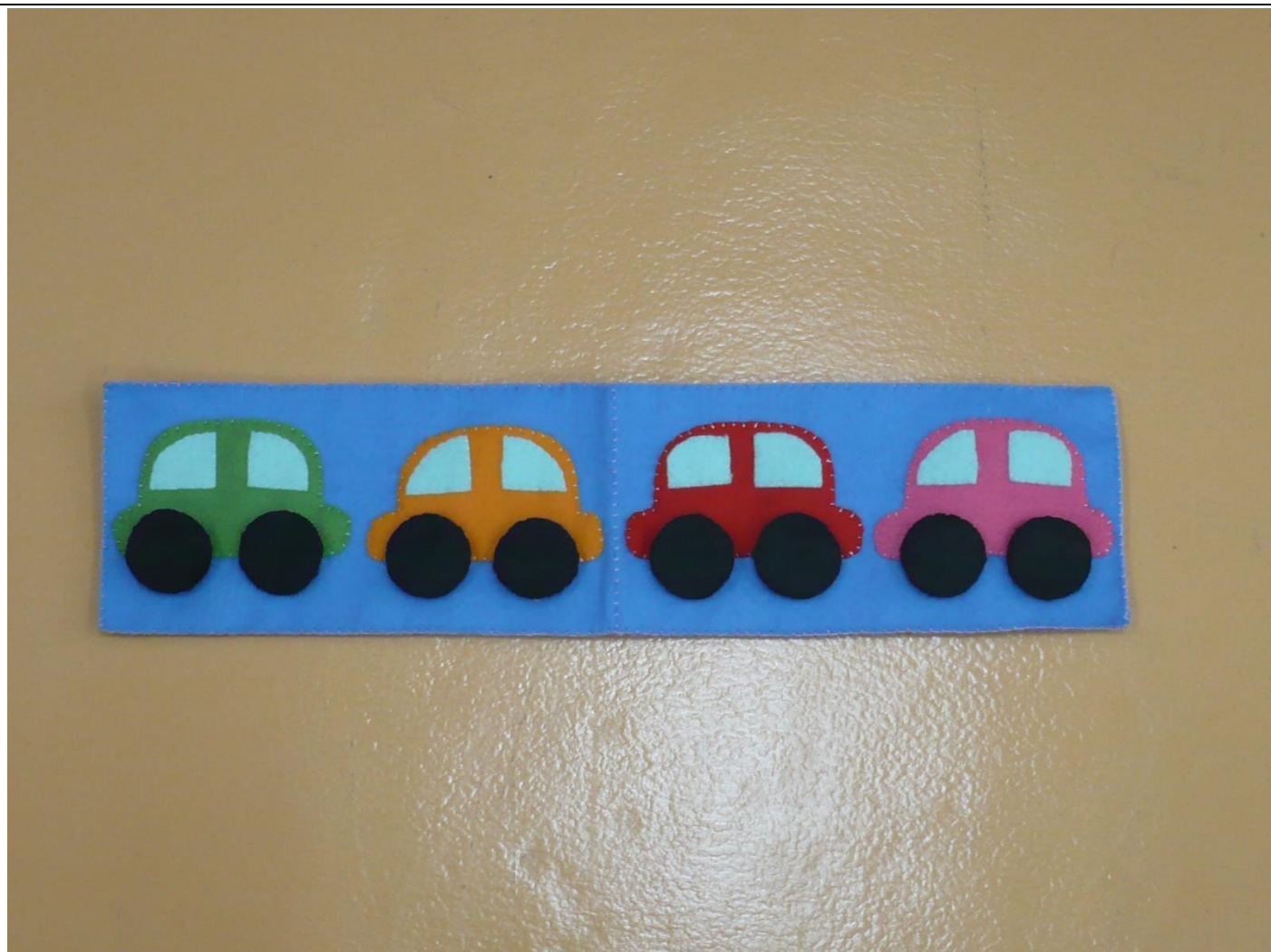
<効果>

- ・「入れる」、「出す」と言葉かけをしながら練習をした。初めは穴を飛ばしたり、入れると出すがあべこべになったりしたが、次第に波縫いのようにできるようになってきた。



教材教具名	スナップボタンの留め外し	分類	操作の学習 — 複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・スナップボタンの留め外し ・目と手の協調		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

スナップボタンの留め外しを行う

<材料>

裁縫道具、フェルト、スナップボタン

<工夫点>

興味関心をもって行えるように児童の好きな車のデザインにした。

<効果>

スナップボタンの留め外しができるようになった。

教材教員名	ボタン通し②	分類	操作の学習 - より複雑な操作
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	目と手の協応、手先の巧緻性、ボタンの練習		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

フェルトの中にボタンを通す。

<材料>

フェルト、ボタン、ひも

<工夫点>

興味のあるもので作ってあげるといい。

<効果>

ボタンの練習につながる

教材教員名	ボタン①	分類	操作の学習 - より複雑な操作
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	ボタンの留め外し、目と手の協応、手先の巧緻性		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

ボタンの留め外しを行う。

<材料>

フェルト、ボタン

<工夫点>

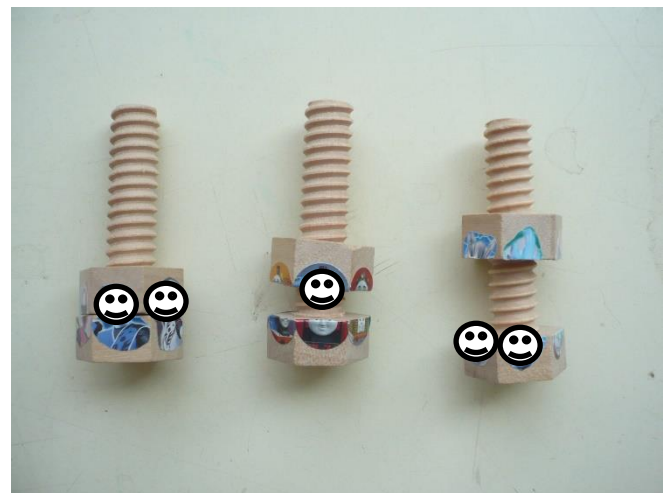
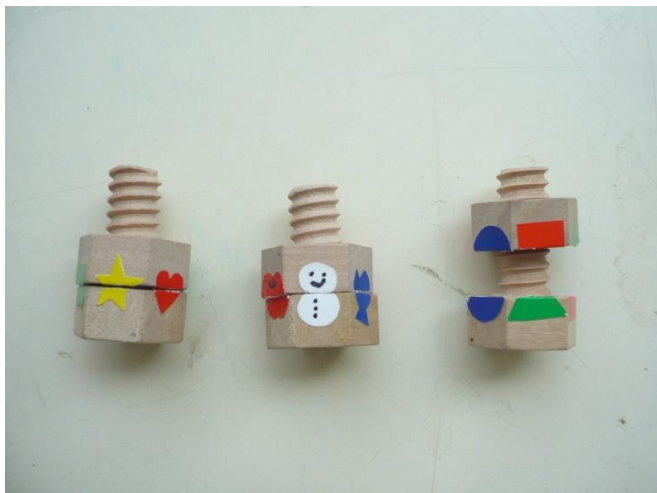
ボタンがゴムで留めてあり、ひっぱることができるようになっている。

<効果>

ボタンの留め外しができるようになった。

教材教具名	ボルト	分類	操作の学習 - より複雑な操作
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	手先の巧緻性		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

指先を使ってボルトを締める

<材料>

木のボルト (100均)、シール

<工夫点>

最後まで締めると、絵が完成するようになっている。

<効果>

指先の使い方が上手になる。

教材教具名	輪ゴムかけ	分類	操作の学習 - より複雑な操作
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	目と手の協応、手の巧緻性		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

筒に輪ゴムをかける。

<材料>

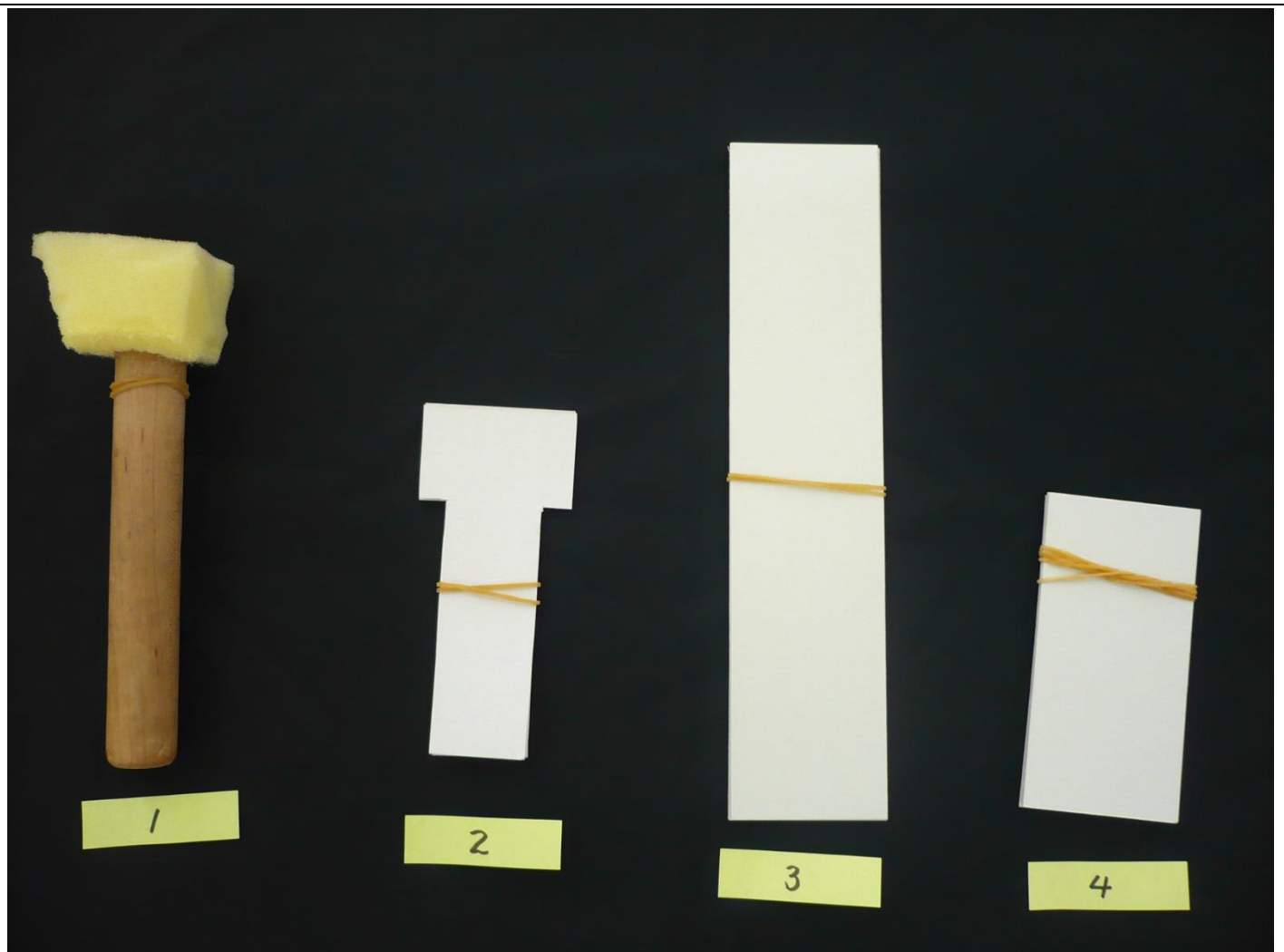
筒、ボンド or テープ、土台になるもの、輪ゴム、色画用紙

<工夫点>

<効果>

教材教具名	輪ゴムの練習	分類	操作の学習 - より複雑な操作
		授業名	個別課題学習 (高等部)
ねらい	カードを束ねて輪ゴムでとめられるように、棒にかける練習から始める		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

片手は棒やカードを持って、片手でゴムをかける。

<材料>

折れたバチ、紙、輪ゴム (何種類かのゴムもためした)

<工夫点>

OT のアドバイスにより、片手は輪ゴムを触らない (操作しない) ように、また、最初は輪ゴムが抜けないように上部を太くする。

<効果>

好きなキャラクターの絵を描いたので、楽しんで取り組むことができた。

教材教具名	ゴムかけ	分類	操作の学習 - より複雑な操作
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"><li>• 手指の巧緻性を高める。</li><li>• 見る力をつける。</li></ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

始めにかかっているゴムと同じ色のゴムを棒にかける。

<材料>

太めのヘアゴム、ゴムかけ棒

<工夫点>

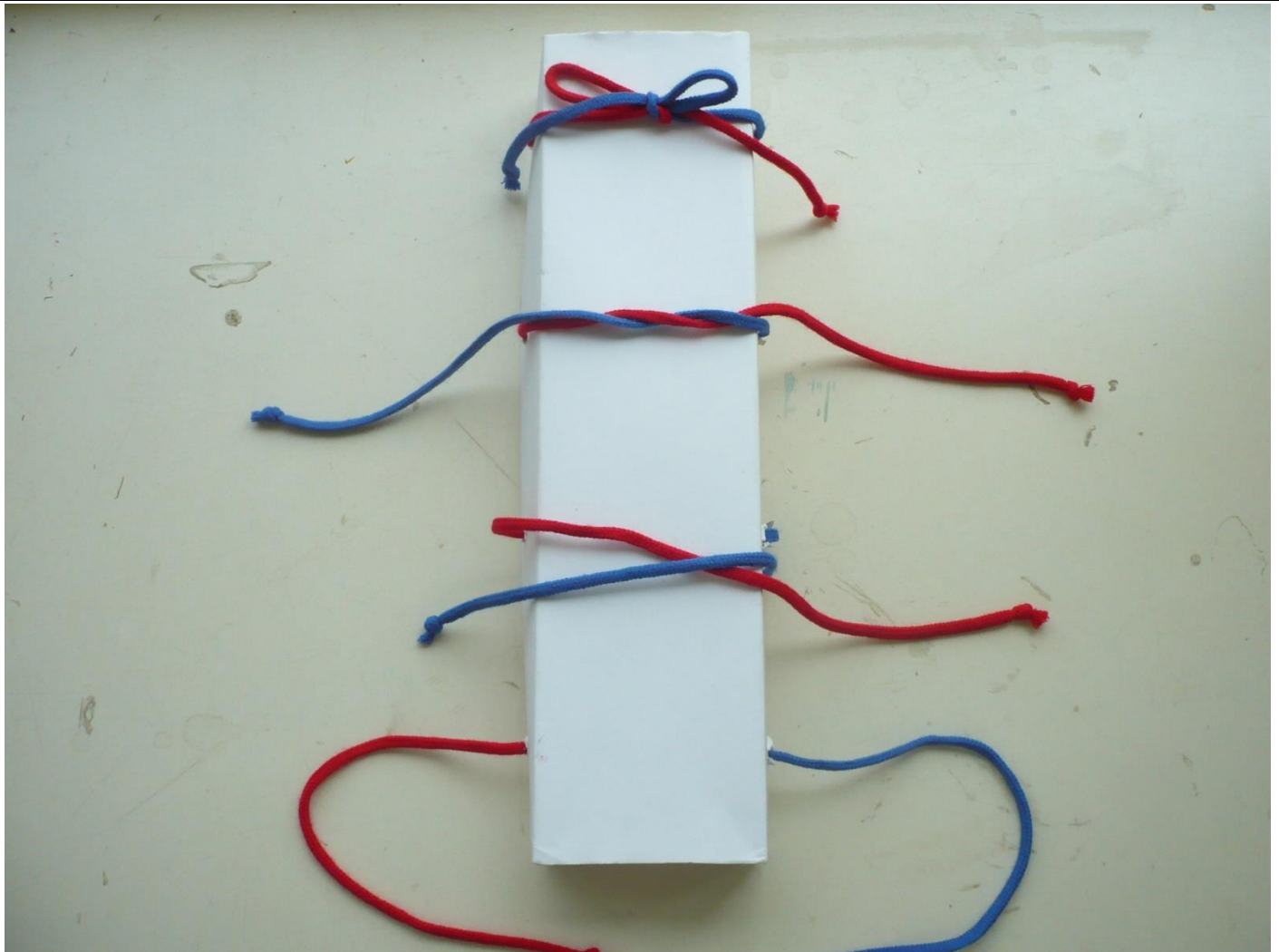
ゴムかけをする時に動かないように、ケースに入れて固定した。

<効果>

細かい手指の動きができるようになった。

教材教員名	ひも結び	分類	操作の学習 — より複雑な操作
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	目と手の協応、手の巧緻性、ひも結び		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

左右の手に違う色のひもを持ち、ひもを結ぶ練習をする。

<材料>

箱、色の違うひも 2 種類

<工夫点>

左右のひもの色を変えている。

<効果>

ひも結びができるようになる。



教材教員名	キャップの開閉	分類	操作の学習 - 工程のある作業
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	手先の巧緻性、色の分別		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

<材料>

ペン、空き箱、画用紙、調味料の入れ物

<工夫点>

色を塗ったり、箱を用意して意欲的に取り組めるようにした。

<効果>

指先の使い方が上手になる。

教材教員名	袋づめ (フォーク)	分類	操作の学習 - 工程のある作業
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見る力を養う。</li> <li>・一定時間作業に取り組むことができる。</li> </ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・カードに描かれたスプーンとフォークを箱の中から探し、セットにして袋に入れる。
- ・袋の口を閉める。
- ・「できました」と言って教員に渡す。

<効果>

- ・やり方が分かると、集中して取り組むことができ、取り組むスピードも徐々に速くなってきた。

教材教具名	スプーンとフォークの袋詰め	分類	操作の学習 - 工程のある作業
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	色や形に注目して正しいものを判断することができる。		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

写真に示してあるスプーン、フォークを選ぶ。  
選んだものを袋に入れる。

<材料>

スプーン、フォーク、袋

<工夫点>

易しいものから徐々にステップアップして行った。  
1本ずつ→2本(同じ色)→2本(違う色)

<効果>

色や形に注目して袋詰めをすることができるようになった。

教材教員名	袋詰め（4色）	分類	操作の学習 - 工程のある作業
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見る力を養う。</li> <li>・一定時間作業に取り組むことができる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・指示書を見て、必要な札を並べ、袋に入れる。
- ・袋の口を閉める。
- ・「できました」と言って教員に渡す。

<効果>

- ・やり方が分かると、集中して取り組むことができ、取り組むスピードも徐々に速くなってきた。

教材教員名	ペンの組み立て	分類	操作の学習 - 工程のある作業
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	色の分別、手先の巧緻性		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

同じ色のパーツを集めて組み立てる。

<材料>

カラーボールペン、箱などのケース

<工夫点>

パーツごとに分かりやすくケースに入れる。

<効果>

教材教具名	ブロック組み立て	分類	操作の学習 - 工程のある作業
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	一定時間作業に取り組むことができる。		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ブロックの色分けをする。
- 完成写真を見ながら、ブロックの組み立てをする。
- 完成したものを袋に入れ、順番に箱にしまう。

<材料>

カラーブロック、色分け用カップ、仕切り箱

<工夫点>

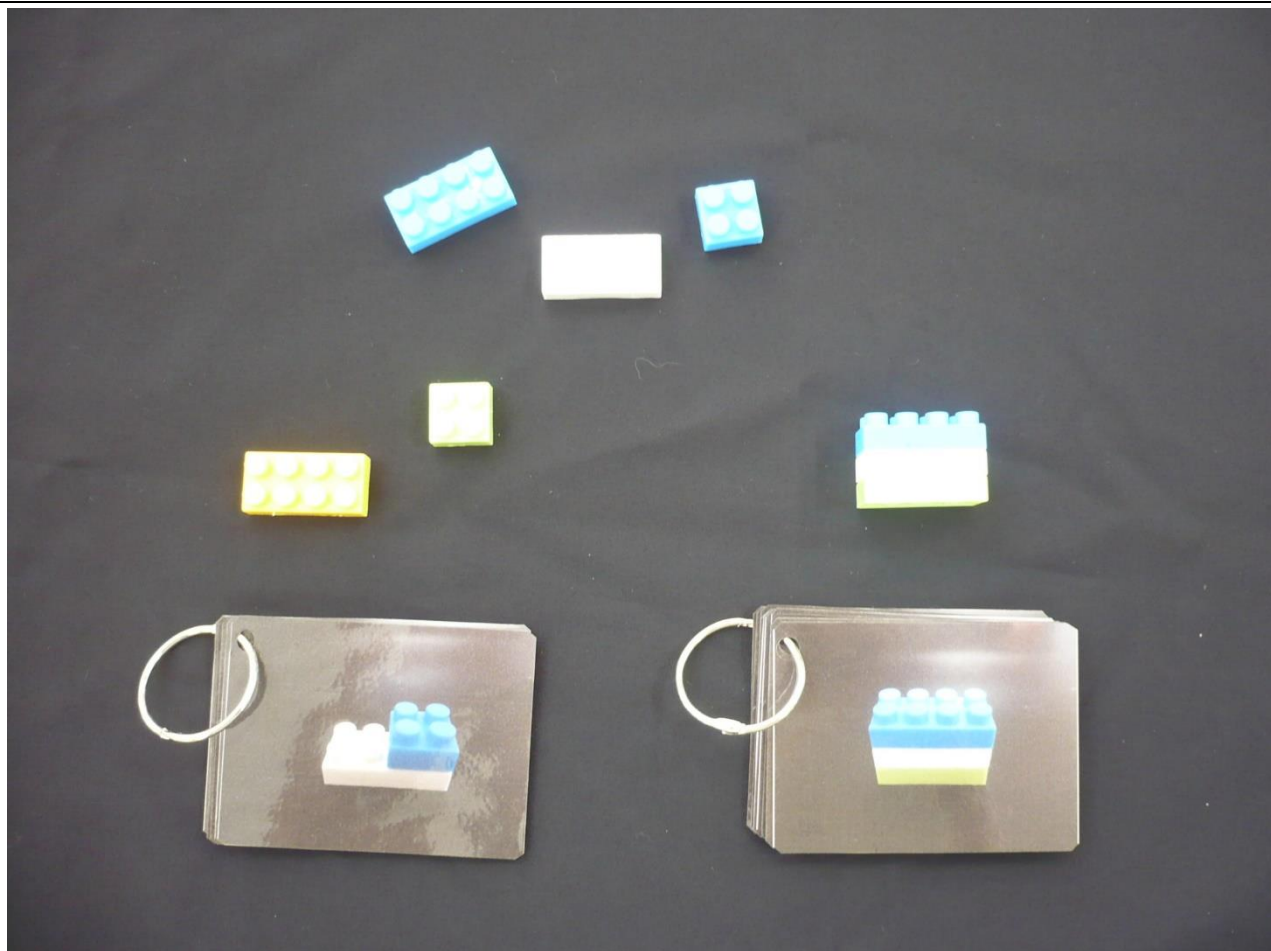
- 作業を理解するために見本をつくった。

<効果>

- 集中して作業ができるようになった。

教材教具名	まねっこブロック	分類	操作の学習 - 工程のある作業
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色と形のマッチング</li> <li>・手指の緻巧性を高める</li> </ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

写真カードと同じ色と形になるように、ブロックを選び、組み立てる。同じものができたら、カードをめくり、次の形を作っていく。終わったら箱にブロックを片付ける。

<材料>

ブロック、写真カード (コピー用紙をラミネートしたもの)

<工夫点>

2 個のブロックと 3 個のブロックのできる形の 2 種類の写真カードを作った。慣れてきたら 4 個のブロックを使ってできるものを今後作る予定。

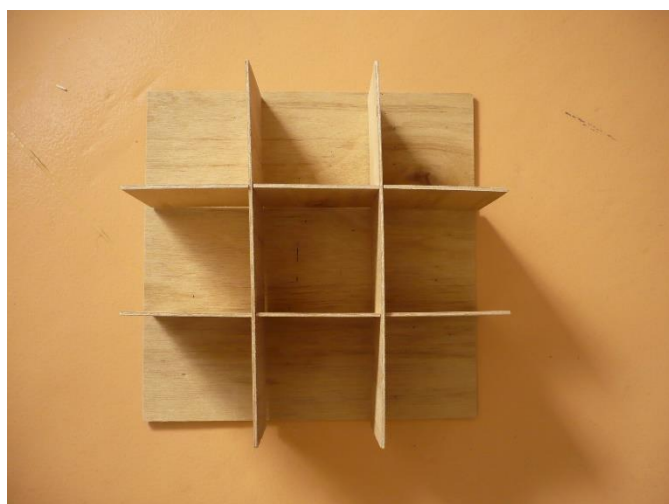
<効果>

- ・遊び感覚で活動ができるので、楽しみながら形を作れる。
- ・小さめのブロックなので、つまんだり、押し込んだりすることで指を動かす訓練になる。

教材教具名	形作り（木製）	分類	操作の学習 － 工程のある作業
		授業名	国語・数学（中学部）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 両手を使って作業に取り組む。</li> <li>• 教員が作った形を記憶し、解体してその通りに作ることができる。</li> </ul>
-----	--

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

教員が工程を1つずつ目の前で行い、様々な形を作る。（多くて4工程）

<工夫点>

2工程一遍に行うと、枠同士がはまりにくくした。（1工程ずつ確実にを行うため）  
木片の切れ目同士を合わせたら、平らな所に置いて合わせないと水平にならないようにした。

<効果>

木板4枚から、様々な形が作れることに気付いてくれ、興味を持って取り組ませることができた。



教材教具名	アルミ作業の手順書	分類	操作の学習 - 工程ある作業
		授業名	国語・数学（高等部）
ねらい	手順に沿って作業を進める		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

アルミ作業時にめくり式の手順書として使用する。

<材料>

紙、ラミネートシート、リングファイル

<工夫点>

<効果>

教材教具名	ビーズの袋づめ	分類	操作の学習 — 文字数字を扱う作業
		授業名	国語・数学（高等部）
ねらい	袋の指示（色・個数）に合わせて袋づめを行う。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

袋に書かれた、色と個数を読み取ってビーズを入れ込んでいく。

<材料>

ビーズ、袋、ビーズ用ケース

<工夫点>

色と数の二つの要素を考えて袋づめできるようにした。

<効果>